

# いちのみやの芸術文化

一宮を学ぶ

特集

- 一宮市芸術文化協会設立総会
- 「金田一秀穂」文化講演会

美濃路と朝鮮通信使

設立記念  
合併号

1・2号

一宮市芸術文化協会



▲祭礼幕（一宮市博物館蔵）部分

一宮市には、一宮市博物館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

# 美濃路と朝鮮通信使

「美濃路」は、江戸時代に五街道（東海道・中山道・甲州街道・奥州街道・日光街道）に付属する街道として東海道宮宿と中山道垂井宿を結んでいました。東海道の難所「鈴鹿峠」と桑名・宮の間の海上「七里の渡し」を迂回することができたため、栄えた街道で当時の幕府の道中奉行の支配下に置かれました。今回は「美濃路」にまつわるエピソードについてご紹介します。

## 通信使

今から、四百年前の慶長十二年（一六〇七）、李氏朝鮮王朝から日本に外交使節団が派遣されました。これが江戸時代における朝鮮通信使の始まりとされます（なお、室町時代にも朝鮮通信使は派遣されています）。文化八年（一八一）まで全部で十二回、来日しました。朝鮮通信使派遣の目的は將軍襲職の祝賀ですが、初期においてはその他にも様々な目的がありました。最初の三回は「回答兼刷還使」と呼ばれ、豊臣秀吉の朝鮮侵略に対す



る捕虜の返還が主な目的でした。寛永二十年（一六四三）の五回目までの派遣目的は東アジアにおける朝鮮王朝の外交政策でした。しかし、その後、東アジアの情勢が安定すると、派遣の目的は將軍の襲職を祝賀するものになり、「通信使」という呼称が

## 朝鮮通信使一覽

西暦	年		代	総人員 (は大坂留)	使命
	朝鮮	日本			
一六〇七	宣祖四十二 慶長十二	千支	丁未	四六七	修好 回答兼刷還
一六一七	光海君九 元和三	千支	丁巳	四二八 (七八)	大坂平定祝賀 回答兼刷還
一六二四	仁祖二 寛永元	千支	甲子	三〇〇	三代將軍 家光襲職祝賀 回答兼刷還
一六三六	仁祖十四 寛永十三	千支	丙子	四七五	泰平祝賀
一六四三	仁祖二一 寛永二十	千支	癸未	四六二	家綱誕生祝賀 日光山致祭
一六五五	孝宗六 明暦元	千支	乙未	四八八 (百三)	四代將軍 家綱襲職祝賀 日光山致祭
一六八二	肅宗八 天和二	千支	壬戌	四七五 (百十二)	五代將軍 綱吉襲職祝賀
一七一一	肅宗三七 正徳元	千支	辛卯	五〇〇 (百二九)	六代將軍 家宣襲職祝賀
一七一九	肅宗四五 享保四	千支	巳亥	四七五 (百九)	八代將軍 吉宗襲職祝賀
一七四八	英祖二四 寛延元 (延享五)	千支	戊辰	四七五 (八三)	九代將軍 家重襲職祝賀
一七六四	英祖四十 明和元 (宝暦十四)	千支	甲申	四七二 (百六)	十代將軍 家治襲職祝賀
一八一	純祖十一 文化八	千支	辛未	三三六	十一代將軍 家斉襲職祝賀

定着しました。朝鮮通信使といっても、江戸時代初頭とそれ以後とでは性格が異なっていたこととなります。

朝鮮通信使は二回目と最後を除いて、江戸まで行きましたが、その人数は四百人〜五百人という大人数でした。江戸までのルートは山城国淀までは船が使用されましたが、その後は陸路で江戸に向かいました。通信使に随行した水夫等は大坂に留め置かれましたが、それでも三百人〜四百人の一行が陸路を江戸に向かいました。その陸路の一つがこの美濃路です。美濃国（岐阜県）に入った朝鮮通信使は大垣で一泊し、墨俣宿を通行し、起宿（現一宮市起）で昼食を取ります。当時は橋がないため、臨時に木曾川を渡るため船橋が架けられました。この船橋は揖斐川、長良川のものより倍の大きさになりました。

## 文化交流……

朝鮮通信使が通行した街道沿いには、それに関係する史跡や名所も多く残され



▶ 船橋の模型（一宮市尾西歴史民俗資料館蔵）

ています。また、朝鮮通信使に影響を受けたとされる祭礼行事も多く確認されており、朝鮮通信使の通行が単なる大人数の通行ではなく、文化交流など、当時の人々に大きな影響を与えたことがわかります。また、それは現在にも継承されており、身近なところに朝鮮通信使の名残を見ることができるとおもいます。

尾西歴史民俗資料館は朝鮮通信使の通行に関する史料を多く保存しており、資料館に常設展示していますので、一度お立ち寄りください。

（一宮市尾西歴史民俗資料館）

# 平成19年4月1日 「一宮市芸術文化協会」の発足

平成19年3月17日(土)一宮市尾

西生涯学習センターにおいて、「一宮市文化団体協議会」、「尾西文化協会」及び「木曾川町文化協会」を統合し、新しく「一宮市芸術文化協会」を発足させるための設立総会が行われました。

総会では、これまでの経過、

加入状況、役員人事及び当面の事業等を承認後、新役員の紹介



がされました。

左上の写真は、設立総会后これからの一宮市の芸術文化活動の普及と発展を願い、固い握手を交わす(右から)岩田哲夫一宮市文化団体協議会会長、谷一夫一宮市芸術文化協会会長、岡田春雄尾西文化協会会長、墨利春木曾川町文化協会会長。

この席上で顧問以下役員が選出され、承認されました(6ページ参照)。従来の各文化団体の会長をそれぞれ顧問に、一宮市長を会長にお迎えして、加入団体総数135団体、会員数約3,700名の文化団体の執行部が決定いたしました。

また、設立総会后、理事・部長も評議員の互選で選出され、新しい「一宮市芸術文化協会」の組織ができあがりました。



設立総会の様子

# 会長あいさつ

一宮市芸術文化協会 会長 谷 一 夫

早いもので旧一宮市、旧尾西市及び旧本曾川町の行政合併から既に2年が経過いたしました。その間さまざまな違いが調整され、徐々にではあるものの、新「一宮市」としての一体感が確実に高まってきております。

今の時代、心の豊かさを求める声はますます高くなってきており、「芸術文化」が人の心へ及ぼす効果もそれに比例し大きくなっていくと感じております。その一助となり得る旧2市1町の文化団体である「一宮市文化団体協議会」と「尾西文化協会」及び「本曾川町文化協会」が統合し、新しく「一宮市芸術文化協会」として発足しましたことは新生一宮市の文化行政の推進の礎が固められたことを意味しています。

平成17年2月8日の第1回文化関係統合準備委員会から実に15回の協議を重ねまして、本日の設立を迎えることができました。

これも岩田哲夫一宮市文化団体協議会会長をはじめ、岡田春雄尾西文化協会会長、墨利春木曾川町文化協会会長及び田中系之助一宮市レクリエーション協会会長のリーダーシップと委員の皆様方、関係各位のご理解、ご協力の賜物でございます。ここに心から敬意と感謝の意を表しますとともに、これから本協会へのご助言、ご指導をいただきたいと思います。

協議中は、それぞれの地域で連綿と培ってきた歴史文化や伝統文化をどの様にして新しい文化団体へ継承していくかが最大の

の課題でありましたが、皆様方が英知を持って統合への第一歩を踏み出していただいたお陰で、一宮市の芸術文化に新しい展望が今まさに眼前に開けてきたようないきがいたします。

先程、統合への第一歩と申し上げましたが、今後この協会がどの様に活動して行くかが非常に重要になってまいります。その責任の重さを実感しつつ、130を超える団体、約3,700名の会員の方々が巻き起こす文化活動の風が一宮市の文化によるまちづくりへの追い風となりますことを期待して止みません。私もこの一宮市芸術文化協会の会長としてこれからの一宮市の芸術文化の普及・発展に力を尽くして参りたいと思っております。

ります。

皆様方におかれましても、「一宮市芸術文化協会」の活動にご理解とご協力をいただき、本協会ならびに一宮市の文化行政が元気良く成長・発展していくためにお力をお貸しいただきますようお願いを申し上げます。あいさついたします。



新役員の紹介

# 一宮市芸術文化協会新役員

※下図は各部門選出の理事一覧表です。

無任所理事			監事		会計	副会長					会長	顧問			役職名	
															氏名	
不破	塚本	足立	竹内	細井	小島	寺西	不破	加藤	林	尾関	谷	墨	岡田	岩田	備考	
紘治	文雄	重喜	広	進	祥子	西洋二	皓	昌義	英夫	良英	一夫	利春	春雄	哲夫		
元尾西文化協会技芸部副会長			木曾川ライトソングクラブ		元一宮市文化団体協議会副会長		元尾西文化協会芸能部副会長		元尾西市教育長		一宮市長		元尾西文化協会会長		元一宮市文化団体協議会会長	

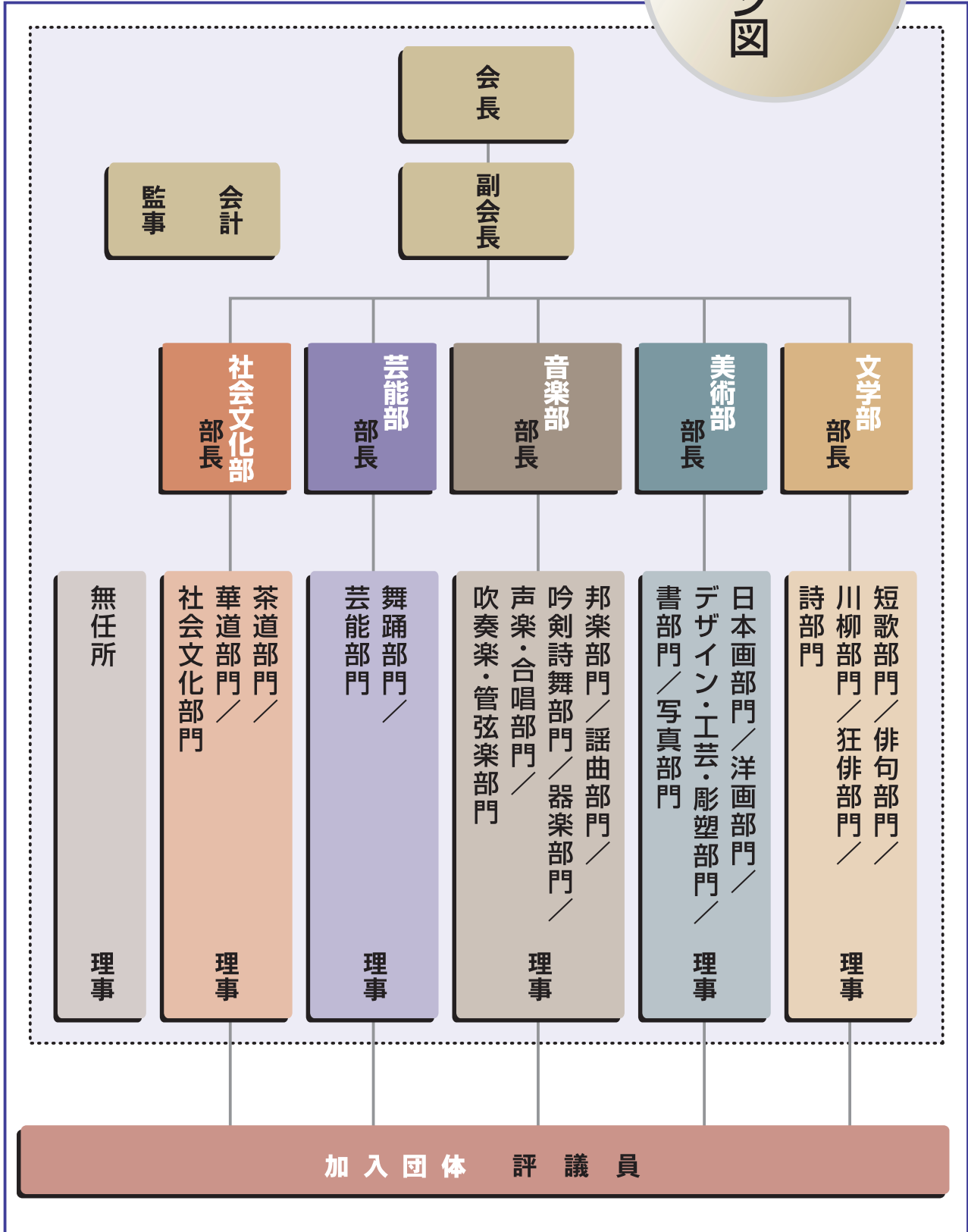
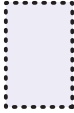
文社化部会			芸能部		音楽部					美術部					文学部			部			
																		部門			
社会文化部門	華道部門	茶道部門	芸能部門	舞踊部門	吹奏楽・管弦楽部門	声楽・合唱部門	器楽部門	吟剣詩舞部門	謡曲部門	邦楽部門	写真部門	書部門	彫塑・デザイン・工芸部門	洋画部門	日本画部門	詩部門	狂俳部門	川柳部門	俳句部門	短歌部門	
	○		○			○							○							○	
柳原 たづ子	安立 高明	岩田 宗晋	木全 修	佐々 智恵子	浅井 英仁	久野 以早夫	越山 ちよ	鎌田 猛	森 恒夫	小関 秀義	菱田 繁雄	林 大樹	森 昭夫	高山 悟	名倉 勝三	青木 小代子	太田 康直	植田 喜久男	坂井 斉	小松原 康生	
一宮アーティフィシャルフラワー協会鶴の会	一宮華道連盟	茶道裏千家	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	一宮音楽家協会	琴生流大正琴さつき会	関心流日本興道吟詩会 真和支部	竹石会	一宮三曲協会	中日真澄クラブ	社団法人中部日本書道会 一宮支部	一宮美術作家協会 /デザイン・工芸部・彫塑部	一宮美術作家協会 /洋画部	一宮美術作家協会	俳画の会	一宮現代詩協会	一宮狂俳壇連盟	一宮川柳社	一宮市民俳句教室	真清短歌会

# 機構イメージ図

評議員会



理事会



## 加入団体の紹介

部	部門	団体名
文学部	短歌部門	真清短歌会、尾西短歌会、夏実短歌会、青の樹短歌会
	俳句部門	一宮市民俳句教室、一宮青樹句会、北方俳句会、葉栗俳句教室、一宮市本町俳句会、ききょうの会、千秋老人俳句クラブ、神山句会、浅井土筆句会、白舩俳句会、尾西牡丹会、尾西句会、仏手柑句会、一宮市尾西市民俳句会、尾西新樹会
	川柳部門	一宮川柳社
	狂俳部門	一宮狂俳壇連盟
	詩部門	一宮現代詩協会、一宮漢詩濤聲会
美術部	日本画部門	一宮美術作家協会／日本画部、俳画の会、桃墨会
	洋画部門	一宮美術作家協会／洋画部、尾西絵画クラブ、彩の会、水絵の会、鈴木田油絵教室、楽しく描こう会、尾彩、ポピーの会、尾西ガリバンパンの会、パレット会、木曾川絵画同好会
	デザイン・工芸・彫塑部門	一宮美術作家協会／デザイン・工芸部・彫塑部、尾西拓友会、尾西陶芸クラブ、花千会、陶順会、楽陶会、美省会
	書部門	社団法人中部日本書道会一宮支部、麗筆会、象雲会、日中古墨書道友好協会尾張支部
	写真部門	一宮写真協会、中日真澄クラブ
音楽部	邦楽部門	一宮三曲協会、三山会、里音会、すみれ箏の会、美友会、藤乃会尾西教室、尾西三味線熹世智会
	謡曲部門	相生・中日文化会、松謡・いづみ会、竹石会、市職クラブ・線風会、誠謡会、清宵・蘇水会、萩・丹謡会、寿謡会、紅韻会
	吟剣詩舞部門	関心流日本興道吟詩会真和支部、関心流日本興道吟詩会五鈴支部、岳精流日本吟院一宮地区会、北辰神桜流桜旗会、北辰神桜流桜桃会、岳風流岳南吟詠会奥町支部、日本詩吟学院濃尾岳風会、吟道彩峰流一宮支部、一宮西成青社会、雅芳流嶋邦吟詠会文化教室、雅芳流嶋邦吟詠会ふれあい教室、岳風会尾西詩吟クラブ、すずめの会、神道一刀流尾西剣詩舞会、剣詩舞道柳翠会、濃尾吟詠会
	声楽・合唱部門	一宮音楽家協会、一宮合唱協会、一宮第九をうたう会、尾西混声合唱団、女声合唱団蓮、長澤民謡会、佳富士会、尾西民謡熹世智会
	器楽部門	琴伝流大正琴稀会、琴伝流大正琴琴女会、安美&コンプリオ、大正琴カトレヤ会、琴生流大正琴さつき会、清の琴andニューロマンズハーブ、木曾川大正琴日曜クラブ、木曾川ライトソングクラブ
	吹奏楽・管弦楽部門	一宮市民吹奏楽団、尾西ウィンドオーケストラ
芸能部	舞踊部門	一宮舞踊協会、ハワイアン・フラ、新舞踊あすか会、坂東流百喜久会、百の会、扇寿々会
	芸能部門	一宮民俗芸能連盟
社会文化部	茶道部門	同派会、弥生会、茶道表千家、茶道裏千家、尾西玉香会、尾西表千家木野(文)会、尾西緑寿会、尾西清真会、表千家尾西古田社中、裏千家尾西杉本社中
	華道部門	一宮華道連盟、未専会、池の坊会、華友会、草月会、則風会、なるみ会、尾西玉香会、尾西小原流寛社中、尾西池坊木野(文)会、小原流尾西古田社中、尾西花紘会
	社会文化部門	一宮映像クラブ、一宮アーティフィシャルフラワー協会鶴の会、一宮アーティフィシャルフラワー協会風雅の会、歌楽会、若芽会、木曾川マジッククラブ

〔順不同〕



# 一宮市芸術文化協会 設立までの経緯

第1回文化団体統合準備委員会(以降13回開催)

※8項目の基本合意書に調印

(第10回文化団体統合準備委員会 平成18・7・3)



平成18・8  
～9

新協会への加入意向調査  
(旧3文化協会登録団体)



平成18・12  
～平成19・1

新協会への加入申請受付  
(旧3文化協会登録団体)



平成19・1・16

第13回文化団体統合準備  
委員会及び第1回設立準備委員会



平成19・2・20

第2回設立準備委員会



平成19・3・17

一宮市芸術文化協会設立総会  
※財産の継承を基本合意事項に追加し、統合協定書を締結



▶ 統合協定書への各会長の署名

# 「第65回一宮市美術展」の作品を募集

今年の「一宮市美術展」は次のとおり開催されます。

## 【規格】

日本画 20号以上100号以内で額入り。

会期 11月15日(木)～18日(日)

洋画 20号以上150号以内で額入り。版画は4号以上で額入り。

午前9時30分～午後5時  
(18日は午後4時30分まで)

会場 一宮スポーツ文化センター

種目 日本画/洋画/彫刻・立体/工芸/デザイン/書/写真

彫刻・立体 制限なし。

主催 一宮市・一宮市教育委員会

工芸 制限なし。

身近に美術にふれることができ  
る機会として親しまれているこの  
美術展には毎年たくさんの方が  
出品されます。

デザイン A2サイズ以上でパネル  
張り。小型は、パネルに  
構成。ポスター・フレーム  
可(ポスター・イラスト  
・CG等表現自由)

今年も次のとおり作品を募集し  
ます。

【作品搬入】  
日程 11月10日(土)・11日(日)  
午前9時30分～午後5時

書 91cm×91cm(3尺×3尺)  
又は176cm×48cm  
(58尺×16尺)以下。縦  
横自由。枠張り又は額装。  
規定の用紙に必ず墨書に  
よる釈文を添付すること。

【出品料】 無料

【出品規定】

出品者 中学校卒業以上の年齢の  
方で、市内市外は問いま  
せん。

出品点数 未発表作品1種目1点

会場 一宮スポーツ文化センター

【出品料】 無料

【出品規定】

出品者 中学校卒業以上の年齢の  
方で、市内市外は問いま  
せん。

出品点数 未発表作品1種目1点

会場 一宮スポーツ文化センター

【出品料】 無料

【出品規定】

詳しいことは、市生涯学習課まで  
お問い合わせください。  
☎0586-840013

# 一宮市芸術祭

いよいよ天高く馬肥ゆる秋となりました。  
 あなたの秋は「芸術」? 「読書」? 「スポーツ」? それとも「食欲」でしょうか。  
 今年の「一宮市芸術祭」は次のとおり開催されます。  
 あなたも目と心の保養にぜひお出かけください。

行事	期 日	時 間	開催場所	入 場 料 参加料等	団 体
2007 一宮美術作家新展	9月1日(土) ～17日(祝)	午前9:30～ 午後5:00	一宮市博物館	一宮市博物館 常設展観覧料 200円	一宮美術作家協会
第4回 尾西絵画・写真連合展	9月12日(水) ～17日(祝)	午前9:00～ 午後5:00 (17日は午後4:30まで)	三岸節子 記念美術館	入場無料	尾西美術連合
花千会作品発表会	9月14日(金) ～17日(祝)	午前9:00～ 午後5:00 (14日は午後1:00から)			花千会
第43回麗筆会展	9月14日(金) ～16日(日)	午前10:00～ 午後5:00 (16日は午後4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター		麗筆会
創立40周年記念演奏会	9月16日(日)	午後2:00～ 午後4:00	尾西市民会館	前売1,000円 当日1,500円	尾西ウィンドオーケストラ
出合い 感動 この時を撮る。 一宮写真協会28人展	9月20日(木) ～30日(日)	午前9:30～ 午後5:00 (30日は午後4:30まで)	一宮市博物館	一宮市博物館 常設展観覧料 200円	一宮写真協会
市民茶会	10月7日(日)	午前10:00～ 午後3:00	真清田神社	2席 1,500円	一宮茶道協会
楽陶会 & 日中古墨書道展	10月11日(木) ～14日(日)	午前10:00～ 午後5:00 (14日は午後4:30まで)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	楽陶会・日中古墨書道 友好協会尾張支部
狂俳大会	10月13日(土)	午後1:00～ 午後5:00	葉栗公民館	1,000円	一宮狂俳壇連盟
尾西俳句大会	10月14日(日)	午前10:30～ 午後4:30	尾西生涯 学習センター		尾西俳句会
いちのみや文芸2007 発 刊				1冊 800円 随想・随筆、現代詩、漢詩、短歌、俳句、川柳、狂俳の市民文芸集	
文化講演会	10月21日(日)	午後1:00～ 午後2:30	尾西市民会館	入場無料	講師：金田一秀穂さん (国語学者)
一宮映像クラブ 作品発表会		午後1:00～ 午後9:00	一宮市民会館		一宮映像クラブ
秋季謡曲大会	10月28日(日)	午前9:30～ 午後4:30	産業体育館		一宮謡曲同好会
一宮吟剣詩舞道大会	11月3日(祝)	午前9:30～ 午後5:00	一宮スポーツ 文化センター		一宮吟剣詩舞協会

行 事	期 日	時 間	開催場所	入 場 料 参加料等	団 体	
俳 句 大 会	11月3日(祝)	午前11:00～ 午後4:30	一宮スポーツ 文化センター	800円	一宮俳句協会	
第62回 一宮市民華道展	11月3日(祝) ～4日(日)	午前10:00～ 午後4:00 (4日は午後3:30まで)		入場無料	一宮華道連盟	
合同舞踊公演	11月4日(日)	午前11:30～ 午後3:30	一宮市民会館	1,000円	一宮舞踊協会	
第35回一宮音楽家協会 定期演奏会		午後2:00～ 午後4:30	尾西市民会館		一宮音楽家協会	
第13回一宮市民音楽会 (一宮第九をうたう会創立 PRE20周年記念演奏会)		午後2:00～ 午後4:00	尾西グリーン プラザ	700円	一宮第九をうたう会	
尾西短歌大会	11月10日(土)	午後1:30～ 午後4:00	尾西生涯 学習センター	未定	青の樹短歌会 尾西短歌会	
第3回 一宮現代詩祭	11月11日(日)	午後1:30～ 午後4:00	一宮スポーツ 文化センター	500円	一宮現代詩協会	
短歌大会		午後1:00～ 午後4:30			真清短歌会	
第29回 一宮茶道連盟茶会	11月18日(日)	午前9:00～ 午後3:00	妙興寺	8,000円	一宮茶道連盟	
一宮合唱祭		午後0:30～ 午後4:30	尾西市民会館	入場無料	一宮合唱協会	
水絵の会展	11月20日(火) ～25日(日)	午前9:00～ 午後5:00 (20日正午から、25日午後4:00まで)	三岸節子 記念美術館		水絵の会	
三曲演奏会	11月23日(祝)	午前11:00～ 午後4:30	一宮スポーツ 文化センター		一宮三曲協会	
第53回 中部日本書道会 一宮支部展	11月24日(土)	午後1:00～ 午後4:00		入場無料		(社)中部日本書道会 一宮支部
第36回 一宮支部学生書道展	～25日(日)	午前10:00～ 午後4:00				
尾西芸能祭	11月24日(土)	正午～ 午後4:00	尾西市民会館	尾西芸能祭実行委員会		
尾西華道展・お茶会	～25日(日)	午前10:00～ 午後4:00 (お茶会は午後3:00まで)			尾西華道展・お茶会 実行委員会	
一宮市民吹奏楽団 第32回定期演奏会	12月2日(日)	午後1:30～ 午後4:00	一宮市民会館	前売400円 当日500円	一宮市民吹奏楽団	
一宮アーティフィシャル フラワー協会作品展	12月5日(水) ～9日(日)	午前10:00～ 午後5:00 (9日は午後4:00まで)	三岸節子 記念美術館	入場無料	一宮アーティフィ シャルフラワー協会	
尾西拓友会展 拓本展	12月18日(火) ～24日(日)	午前9:00～ 午後5:00 (24日は午後3:30まで)	尾西歴史 民俗資料館		尾西拓友会	

# 文化情報



「野府川沿いの道」 寺西洋二

## 《市および市内公共施設の催し》

### 一宮市博物館

☎(46)3215

#### 「2007 一宮美術作家新展」

日時 ● 9月1日(土)～9月17日(祝)

午前9時30分～午後5時  
(入館は午後4時30分まで、  
月曜休館、以下同じ)

内容 ● 一宮美術作家協会会員による最新の力作を展示。

観覧料 ● 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

(以下同じ)

#### 「一宮写真協会展」

日時 ● 9月20日(木)～30日(日)

内容 ● 感性に裏打ちされた表現力。熱い思いを込めた作品展示。

#### 特別陳列「妙興寺文化財展」

日時 ● 10月6日(土)～14日(日)

内容 ● 妙興寺勧請開山 大応国師(南浦紹明)の没後700年にあたり、妙興寺所蔵の重要文化財など約30点を展観。

#### 特別展「没後50年川合玉堂名品展」

日時 ● 10月20日(土)～11月18日(日)

内容 ● 一宮市木曾川町生まれの川合玉堂。没後50年にあたり、玉堂美術館所蔵などの名品約35点を展示。

#### 企画展「2007 一宮市現代作家美術秀選展」

日時 ● 12月1日(土)～16日(日)

内容 ● 一宮市美術展市長賞受賞者、依頼出品者、一宮美術作家協会、一宮書道協会、一宮写真協会推薦者の作品を展示。

### 三岸節子記念美術館

☎(63)2892

#### 特別展「桂ゆき展 ―カラージュとユーモアの女性画家―」

日時 ● 10月6日(土)～11月18日(日)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで、月曜休館、以下同じ)

内容 ● 女性画家の先駆者「桂ゆき」の初期から晩年にわたる作品約40点を展示し、その幅広く独創的な世界を紹介。

観覧料 ● 一般 500円

高大生 300円

小中生 200円

#### 常設展の企画

#### 「三岸節子 こころのこころ」

日時 ● 11月20日(火)～1月14日(祝)

#### 内容 ● 文学少女であった三岸節子は94歳でこの世を去るまで多くの随筆を遺しました。その芸術性を言葉とともに紐解きます。

観覧料 ● 一般 320円

高大生 210円

小中生 110円

### 尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

#### 特別展「続 船橋物語」

日時 ● 10月6日(土)～12月2日(日)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで、月曜休館)

内容 ● 美濃路に架けられた日本最大の本曾川の船橋。神通川の船橋などと比較しながら川を渡る手段としての船橋を紹介しします。

観覧料 ● 無料

#### 歴史講座

#### 「美濃路探訪〜秋・美濃編〜」

日程 ● ①10月14日(日)

午後1時30分～午後3時

②10月21日(日)

午前9時～午後4時30分

内容 ●江戸時代の主要街道美濃路について、歴史と現在の様子を現地実習で学ぶ講座。

申込み ●応募期間中に資料館へ直接、またはハガキにてお申込み下さい。

(詳しくは市広報でお知らせします。)

「第7回もみじまつり」

日程 ●11月17日(土)、18日(日)

午前10時～午後4時

内容 ●旧林家住宅を会場にお茶会や山野草展、箏の演奏などを2日間にわたり催します。

入場料 ●無料(お茶会300円)

玉堂記念木曾川図書館

☎(84)2346

「第7回川合玉堂展」

日時 ●10月20日(土)～11月15日(木)

午前10時～午後6時

(月曜日休館)

内容 ●近代日本画家川合玉堂の新作、収蔵品を中心に展示。

「宮地域文化広場」

☎(51)2180

「天体観望会」

日程 ●9月7日(金)・8日(土)

木星 こと座のリング状星雲(M57)

10月12日(金)・13日(土)

木星 いて座の球状星団(M22)

11月9日(金)・10日(土)

木星 白鳥座のアルビレオ

12月7日(金)・8日(土)

ペガスス座球状星団(M15)

アンドロメダ座の星雲(M31・M110)

申込み ●詳細は、お問い合わせ下さい。

参加料 ●無料

自主文化事業

「宮市尾西市民会館」

☎(62)8222

「吉田兄弟 三味線だけの世界」

日時 ●9月22日(土)午後5時30分～

入場料 ●5,000円(全席指定)

「青島広志 特選美しいメロディーたち」  
ミチノ 一宮シティー室内管弦楽団

日程 ●11月11日(日) 午後1時～

入場料 ●大人 2,000円

小中学生 1,500円

(全席指定)

市生涯学習課

☎(84)0013

「市民美術教室」

【デッサンと水彩】

日程 ●9月12日～10月31日の毎週

水曜日 午後1時30分～3時30分

受講料 ●4,200円

【染色】

日程 ●9月26日～10月17日の毎週

水曜日 午後2時～4時

受講料 ●2,500円

【版画とガラス絵】

日程 ●9月11日～10月30日の毎週

火曜日(10月2日除く)・10月3日(休)

午後6時30分～8時30分

受講料 ●4,000円

【写真】

日程 ●9月6・13・20・27日(木)の

午後6時30分～8時30分  
および9月9日・16日(日)の午前9時30分～正午

受講料 ●3,500円

\*全コースとも、会場は一宮スポーツ文化センターです。受講料に教材費は含まれています。詳細は広報8月号をご覧ください。

《県文化協会連合会の催し》

「県文連美術展」

会期 ●10月23日(火)～28日(日)

会場 ●愛知県美術館ギャラリー

入場料 ●500円(前売400円) 中学生以下無料

「愛知県民茶会」

会期 ●11月25日(日)

会場 ●津島神社他

設席 ●一宮茶道連盟他

茶券 ●前売券 800円(2席) 当日券 500円(1席)

※生涯学習課(木曾川庁舎)にて

前売り予定

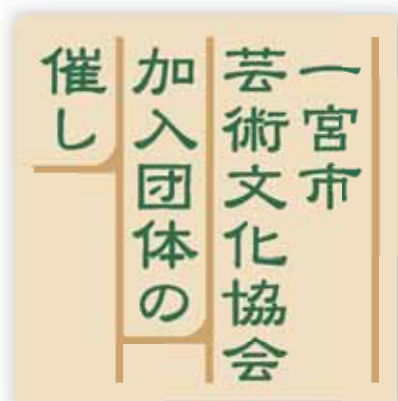
「県文連西尾張部芸能大会」

会期 ●12月2日(日)

会場 ●江南市民文化会館

入場料 ●無料

出演団体 ●木曾川ライトソング他



**『神山句会 俳句教室』**

【問合せ先 神山句会】

☎090(7670)4885

日時▼9月1日～12月15日

毎月第1・3土曜日

午後1時～

会場▼神山公民館

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

参加料▼無料

申込▼当日直接会場

**『濤聲会作詩教室』**

【問合せ先 一宮漢詩濤聲会】

☎(78)7953

日時▼9月4日～12月4日

第1火曜日

午前10時30分～

会場▼豊島図書館

対象▼どなたでも (初心者歓迎)  
参加料▼年3,000円  
申込▼当日直接会場

**『ききよの会 俳句教室』**

【問合せ先 ききよの会】

☎(45)0274

日時▼9月6日～12月6日

毎月第1木曜日

午後1時～

会場▼大志公民館

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

参加料▼無料

申込▼当日直接会場

**『本町俳句会 俳句教室』**

【問合せ先 一宮市本町俳句会】

☎(71)3777

日時▼9月7日～12月21日

毎週金曜日

午後1時～

会場▼大志公民館

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

参加料▼無料

申込▼当日直接会場

**『市民短歌教室』**

【問合せ先 真清短歌会】

☎(68)2878

日時▼9月9日・10月14日・

12月9日

毎月第2日曜日(11月を除く)

午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

内容▼真清短歌会会員により実作指導します。

参加料▼無料

申込▼当日直接会場

午後1時～

会場▼大志公民館

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

参加料▼無料

申込▼当日直接会場

午後1時～

会場▼大志公民館

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

参加料▼無料

申込▼当日直接会場

内容▼幼児・小中学生の書道作品展

入場料▼無料

会場▼一宮スポーツ文化センター

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

参加料▼無料

申込▼当日直接会場

午後1時～

会場▼尾西公民館

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

参加料▼1,000円

申込▼当日直接会場

会場▼金曜日は尾西南部生涯学習

センター、土曜日は尾西生涯学習センター

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

参加料▼1,000円

申込▼当日直接会場

**『狂俳月例会』**

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(72)7690

日時▼9月15日・11月10日・

12月8日 各土曜日

午後1時～

会場▼葉栗公民館

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を決定し記録に残します。

参加料▼年4,000円

申込▼当日直接会場

午後1時～

会場▼浅井公民館

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

参加料▼無料

申込▼当日直接会場

午後1時～

会場▼浅井公民館

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

参加料▼1,000円

申込▼当日直接会場

午後1時～

会場▼浅井公民館

対象▼どなたでも (初心者歓迎)

参加料▼無料

申込▼当日直接会場

## 『瀟聲会 定例会』

【問合せ先】一宮漢詩瀟聲会

☎052(691)6535

日時▼9月22日・12月22日

各第4土曜日(11月は第3)

午後2時30分

会場▼豊島図書館

対象▼どなたでも(初心者歓迎)

参加料▼月1,000円

申込▼当日直接会場

## 『一宮青樹句会 俳句会』

【問合せ先】一宮青樹句会

☎(73)5504

日時▼9月29日・10月27日・11月

24日・12月22日

各土曜日

午後1時

会場▼一宮スポーツ文化センター

対象▼どなたでも(初心者歓迎)

参加料▼500円

申込▼当日直接会場

## 『房満会 秋の舞』

【問合せ先】房満会

☎(45)2946

日時▼9月30日(日)

午前10時30分

会場▼一宮勤労会館

内容▼日舞発表会  
入場料▼無料

## 『市民俳句教室』

【問合せ先】一宮市民俳句教室

☎(73)5504

日時▼9月30日・11月25日・

12月16日各日曜日

午後1時

会場▼一宮スポーツ文化センター

対象▼どなたでも(初心者歓迎)

内容▼市民俳句教室として俳句を

研究

参加料▼無料

申込▼当日直接会場

## 『市民川柳教室』

【問合せ先】一宮川柳社

☎(45)8045

日時▼9月30日・10月28日・11月

25日・12月23日

各日曜日 午後1時

会場▼一宮スポーツ文化センター

対象▼どなたでも(初心者歓迎)

内容▼自由吟及び課題吟を一宮川

柳社委員が指導します。

参加料▼無料

申込▼当日直接会場

## 『秋の市民俳句 吟行会』

【問合せ先】一宮市民俳句教室

☎(73)5504

日時▼10月12日(金) 午前9時

行先▼日本まん真ん中センター

(郡上市)他

対象▼どなたでも

参加料▼500円

申込▼事前に事務局へ連絡

## 『秋の市民短歌 吟行会』

【問合せ先】尾西短歌会

☎(62)1612

日時▼11月14日(水)

行先▼桑名六華苑、七里の渡し他

対象▼どなたでも

参加料▼2,000円

申込▼事前に事務局へ連絡



## ≡『加入団体の催し』欄に情報を掲載しませんか?≡

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体の活動情報を募集します。掲載を希望される団体は、発行月3・6・9・12月の概ね2ヶ月前までに、下記の必要事項を任意の様式にて記入の上、事務局まで提出してください。

**必要事項** ①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場  
⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法 ⑨その他必要事項

**提出先** 〒493-8511 一宮市芸術文化協会事務局(住所不要)  
または FAX 0586-86-1809

入場  
無料

国語学者  
金田一秀穂氏

- ▶ 中京テレビ  
「世界一受けたい授業」
- ▶ 東海テレビ  
「タモリのジャポニカログス」
- ▶ NHK  
「日本語なるほど塾」「日本の顔」  
「ご近所コミュニケーション術」

他多数出演

10月21日

午後1時〜2時30分  
(開場 午後0時30分)

一宮市尾西市民会館

〜おもしろ日本語講座〜

世界一聴きたい文化講演会

- テレビ等で活躍中の国語学者金田一秀穂さんを講師に迎え、講演会を開催します。
- 入場無料ですが、整理券が必要です。  
整理券は9月11日(火)より一宮庁舎東玄関受付、尾西生涯学習センター(尾西庁舎)、尾西南部生涯学習センター、木曽川庁舎生涯学習課、各出張所、各図書館、一宮・尾西市民会館、一宮スポーツ文化センターで配布します。

※当日「いちのみや文芸2007」(1冊 800円)を会場で販売します。

主催：一宮市教育委員会・一宮市芸術文化協会

[題字] 武山翠屋  
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)  
〒493-8511 愛知県一宮市木曽川町内割田一の通り27番地  
TEL 0586-84-0013 / FAX 0586-86-1809